

✓ 「ハザードマップ」で避難場所や経路を確認

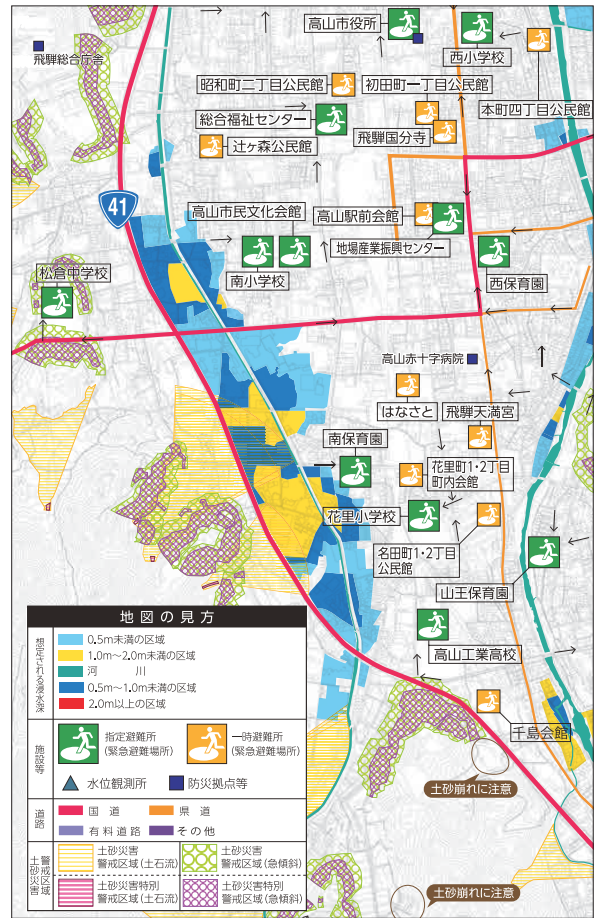
ハザードマップとは、発生が予測される災害(洪水、土砂災害など)に対し、危険な場所や避難に関する情報を地図にまとめたものです。

◎ハザードマップでできること

- 自宅周辺の危険な場所(土砂崩れが起きやすい、浸水しやすいなど)を確認
- 上記により、安全な避難経路を把握
- 最寄りの避難場所を確認 など

◎ハザードマップの入手方法

危機管理課(本庁4階)や各支所の窓口で配布しているほか、市HP(QRコード)で確認できます。



ワンポイントアドバイス

ハザードマップで自宅や勤務先周辺の危険な箇所を確認し、家族や職場で話し合っておくとよいでしょう。実際に危険な箇所を見ておくことも有効です。日頃から「ハザードマップ」や「避難行動判定フロー」(P4)により災害リスクや住宅条件を考慮したうえで、とるべき避難行動や適切な避難先を考えておきましょう。



✓ 避難先で必要となるものを準備

避難した場所には、必要なものが全て揃っていません。災害の時に、取りに帰ることは危険です。いざというときに備えて、避難先での生活に最低限必要な非常持出品を準備しておき、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

自分たちの身の安全も最優先に考えて、持出品を探している時間もないような場合は、少しでも早い避難を優先してください。

ワンポイントアドバイス

できれば家族全員に1つずつリュックサックを準備しましょう。すぐに持ち出せる玄関など目のつくところに置いておくといいですね。季節にあわせた持出品の変更など、定期的な内容を点検することもお忘れなく。



非常持ち出し品の確認 (チェックリスト)

非常時に必要なものを事前に確認し、準備して、チェック しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 携帯電話
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 乾電池
<input type="checkbox"/> 消毒薬	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 医療品・常備薬 医療機関でもらっている薬、お薬手帳	<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> お薬手帳	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 包帯	<input type="checkbox"/> ハンカチ
<input type="checkbox"/> 絆創膏	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん
<input type="checkbox"/> 目薬	
<input type="checkbox"/> ティッシュ	
<input type="checkbox"/> きず薬・消毒液	
<input type="checkbox"/> ガーゼ	
<input type="checkbox"/> 脱脂綿	